

平成20年度 全国学力・学習状況調査 調査結果のポイントについて

～ 北海道(公立)における調査結果～ 北海道教育委員会

本調査結果は、国が公表した調査結果のうち、「平成20年度 全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」に示された全国の調査結果に基づき、現時点において、全国と本道の公立学校における調査結果の比較ができるように取りまとめた概要を掲載したものである。

調査の概要

- 1 調査の目的
- ア 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - イ 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図る。
 - ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 調査結果については、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮して、適切に取り扱う必要がある。
- 2 調査の対象学年 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

教科に関する調査

主として「知識」に関する問題（国語A、算数・数学A）	主として「活用」に関する問題（国語B、算数・数学B）
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況に関する調査

4 調査期日

平成20年4月22日（火）

5 4月22日（火）に調査を実施した学校・児童生徒数

北海道（公立）

〔参考〕全国（公立）

	対象学校数(校)	学校数(校)(実施率)	児童生徒数(人)		対象学校数(校)	学校数(校)(実施率)	児童生徒数(人)
小学校	1,257	1,256(99.9%)	47,414	小学校	21,708	21,685(99.9%)	1,147,633
中学校	667	665(99.7%)	46,222	中学校	10,191	10,120(99.3%)	1,030,521
合計	1,924	1,921(99.8%)	93,636	合計	31,899	31,805(99.7%)	2,178,154

小学校には特別支援学校小学部を、中学校には特別支援学校中学部を含む

修学旅行等のため、当日実施できず、後日実施した学校数(中2校) 対象児童が病欠のため、当日実施できず、後日実施した学校数(小1校)